

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	甲状腺視神経症患者の診療実態に関する調査研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 眼形成・眼窩・涙道外科 (職名) 教授(特任) (氏名) 高橋靖弘
研究の対象となる方	2017年1月から2021年12月までに甲状腺視神経症と診断され治療を受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>甲状腺視神経症は甲状腺眼症の最重症病態で、失明することがあります。甲状腺視神経症はまれな疾患であることから、その臨床所見に関しては不明な点が多いため、本研究では甲状腺視神経症の臨床所見の特徴を調べることを目的としています。</p> <p>[利用方法]</p> <p>診療情報の収集目的で、カルテを利用します。またMRI画像を調査に用います。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>情報は個人が特定できないようにし、郵送により新古賀病院へ提供します。</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	情報：診療録(カルテ)から、病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、内科診察所見、眼科診察所見、眼科検査所見、血液データ、尿データ、治療歴のデータを抽出します。またMRI画像を調査に用います。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	新古賀病院 糖尿病・甲状腺・内分泌センター 廣松 雄治
試料・情報を利用する学外の者	新古賀病院 糖尿病・甲状腺・内分泌センター 廣松 雄治
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年6月30日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12314)